

児童発達支援ガイドラインによる自己評価について

2023年 1月
るんるんキッズハート

児童発達支援の質の向上と支援内容の適正化を図る為、
児童発達支援に基づき実施した自己評価の結果を公表致します。

回収率：保護者88%（30名/34名：回収数/配布数）

《調査からの読み取り・改善点》

	調査からの読み取り	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	いずれの項目においても高い評価をいただいたが、「職員の配置数や専門性は適切であるか」の項目で、何人の職員が配置されているのかわからないとの声もあった。	送迎時に乗り込んでいる職員としか顔を合わせられない為、「わからない」と回答された方が多いと予想される。お子様のみの分離型通所の為、払拭しにくい件ではあるが、できる限り日頃のエピソードや写真などで職員と子ども達の様子を伝えていきたい。
適切な支援の提供	「ニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画がされているか」の項目でほぼ全員から「はい」をいただいた。一方で、「保育園や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか」の項目では、「わからない」がほとんどだった。	現在障害のない子どもとの交流は行っていない。数名の保護者からは「交流の希望はしない」と意見をいただいている為、今後も交流の予定はない。
保護者への説明等	日頃の連絡帳のやりとりに加え、LINEや電話、送迎時にも話ができており、安心して預けられる。という声をいただいた一方で、職員によってバラつきがあるという声もあった。るんるん新聞やHP動画の活動報告がわかりやすく、楽しみにしている。と好評いただいた。	日頃から連絡帳や送迎時に保護者との会話を設け支援の統一性や質の向上に努めているが、満足いただけていないと評価いただいた家庭もある為、偏りがないように職員間で情報の共有や、保護者への伝達の方法など再検討していく。
非常時等の対応	「非常災害に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか」の項目において、回答のほとんどが「どちらともいえない」「わからない」だった。災害時の避難場所を詳しく教えてほしい。という声もあった。	避難訓練の実施時期や避難ルートの周知をさらに工夫していきたい。定期的な声掛けやプリントの配布を引き続き実施していく。
満足度	「子どもは通所を楽しみにしているか」「事業所の支援に満足しているか」では、ほとんどの方から「はい」と支持していただいた。数名は「どちらとも言えない」と回答され、理由としては「親と離れる際泣いていて心配してしまうが、到着後は楽しく過ごせているようで安心できる気持ちもある」との意見だった。帰宅時の表情で楽しかったことが伝わってくる。楽しそうにるんるんでの出来事を話してくれる。との声をいただいた。	保護者の方からも引き続き満足していただけるような支援を心がけていきたい。心配や不安な気持ちを少しでも軽減してあげるように、日々の様子を伝えるなどしてコミュニケーションを取り、ご利用者様と目に見えない信頼関係を築いていきたい。